

社会福祉学科 1年 前期 総合科目

1. 福祉の人間学
2. 地域つくりかえ学
3. 生涯スポーツ実技
4. 日本語表現技法
5. 基礎英語
6. 基礎日本語
7. 情報処理 I

社会福祉学科

1年

科目名：福祉の人間学				担当教員 氏名：宮嶋 潔、社会福祉学科教員					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
2	1年次	前期	総合科目	講義	必修				
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：各教員の自分に影響を与えた人物や学生に知ってほしい人物について実務経験をもとに授業する。									
授業科目の学習教育目標の概要：						キーワード			
「人間性に対する深い洞察を養い、福祉の意味をたずね、それによって人間への愛情と社会を見る目が育てられる。」(阿部志郎) これがこの授業の目的です。互いに支え合い共感し合う人間理解を深めたいものです。自己を見つめ、人間を理解し、各自がそれぞれの「人間観」を確立するのを援助する。						・人間理解 ・人権(擁護) ・倫理綱領 ・「福祉は人なり」			
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福祉マトリックスで示される番号)		1. 2. 4. 5. 6. 10				
A 知識・理解力	人間性の理解を深める。福祉と人権獲得に貢献した先輩の努力を知る。								
G 倫理観	福祉専門職の倫理綱領を理解し、確信を持って人権を擁護するために倫理的に行動できる。								
H コミュニケーション力	感じたことや考察したことを自分の言葉で分かりやすく表現・記述できる。								
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト：	%	レポート：	90 %	発表：	%	実技試験：	%	その他：	10 %
特記事項：									
アクティブラーニング要素： 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：毎回、意見、感想を書いてもらいます。レポート試験を実施します。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：評価をつけて返却します。									
授 業 計 画					準備学習(予習・復習等)				
					学習内容	学習に必要な時間(分)			
①オリエンテーション(全担当教員)	【全員】4/12	以下の福祉分野で活躍した人をまとめる	60						
②社会変革を目指したジェーン・アダムス	【松尾】4/19	ジェーン・アダムス	60						
③「自由に結婚できるようになった背景を学ぶ」 ベアテ・ゴードン	【松尾】4/26	ベアテ・ゴードン	60						
④「人間の成長力を信じぬく」 カール・ロジャース	【竹ノ山】5/10	カール・ロジャース	60						
⑤「アイデンティティとライフサイクル」 E. H. エリクソン	【竹ノ山】5/17	E. H. エリクソン	60						
⑥「死の受容過程」キューブラ・ロス	【中村】5/24	キューブラ・ロス	60						
⑦「問題解決のアプローチ」ヘレン・ハリス・パールマン	【中村】5/31	ヘレン・ハリス・パールマン	60						
⑧「精神障がい者地域生活支援の先駆者」谷中輝雄	【山本】6/7	谷中輝雄	60						
⑨「ケアの本質」ミルトン・メイヤロフの言葉から考える	【毛利】6/14	ミルトン・メイヤロフ	60						
⑩認知症利用者の可能性を広げる「ケアニン」	【毛利】6/21	授業内容をまとめる	60						
⑪「人間の基本的欲求(ニード)に根ざした基本」真のニードを理解する	【境】6/28	ヴァージニア・ヘンダーソン	60						
⑫「ヒューマン・ケアリング」対象者を全人的に理解する	【境】7/5	ジーン・ワトソン	60						
⑬「5つの顔をもつ」ナイチンゲール	【宮城】7/12	ナイチンゲール	60						
⑭「福祉の心」マザー・テレサ	【宮城】7/19	マザー・テレサ	60						
⑮「ノーマライゼーションの父」バンク・ミケルセン	【宮嶋】7/26	バンク・ミケルセン	60						
使用テキスト：テキストはありません。必要な資料は、授業時に配布します。				その他参考文献など：授業中に随時紹介します。					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)：「福祉は人なり」との言葉の意味を噛みしめてください。福祉に「命」を吹き込むのはあなたです。共感と思いやりをもって、人を理解し援助できるようになることを期待します。									

社会福祉学科

社会福祉

1年

科目名: 地域づくりかえ学			担当教員 氏名: 松本 三千人、宮嶋 潔 他						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	1年次	前期	総合科目	講義	必修				
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:									
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード			
主体的に地域の課題を学び、その解決のために必要な目標を設定し、具体的に「ひと・こと・もの」(地域社会)に関わる行動に移し、自身を「つくり、つくりかえ、つくる」実践力を高める。						教育目標「つくり、つくりかえ、つくる」、 『私』宣言、地域社会に生きる「私」、実践 躬行			
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 7. 8. 10.				
D 問題解決力			問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を解決できる。						
E 自己管理能力			地域社会の「ひと、こと、もの」に働きかけ自己を律して行動できる。						
G 倫理観			自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。						
F チームワーク・リーダーシップ			【市民としての社会的責任】義務と権利を適正に行使しつつ、地域社会に生きる「私」になる。						
C 論理的思考力			【生涯学習力】自ら設定した目標(『私』宣言)に対して、それを行動に移し、「つくり、つくりかえ、つくる」の実践力を持つ。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学期および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	33 %	発表:	%	実技試験:	%	その他:	67 %
特記事項: 「つくりかえレポート」と年間の「週フォリオ」を含めた様々な問題への取り組み状況によって評価する。各AD教員が、AD学生の評価にあたる。「つくりかえレポート」100点満点+「週フォリオ」100点満点評価+「自分づくりをすすめる意欲・態度」100点満点評価の合計を3で割った平均を評価点とする。 本科目は、アクティブラーニングの一環として、前期中にボランティア活動を各学生1回以上行い、後期の「富山コミュニティ論」にて活動発表を行う。 また関病記文庫感想文コンクールへの参加や演劇を通して、支援を必要とする方への共感性やコミュニケーション能力を養う。									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 「つくりかえレポート」は第7回に課す。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 適宜AD面談等を行い、返却する。									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な時間(分)				
①【宮嶋】教育目標「つくり、つくりかえつくる」と週フォリオ				4月12日	【復習】学習振り返り、レポート	60分			
②【学長】初年度教育①主体的に学ぶ、論理的思考について				4月19日	【復習】学習振り返り、レポート	60分			
③【松尾】初年度教育②レポートの書き方				4月26日	【復習】学習振り返り、レポート	60分			
④【毛利】初年度教育③アカデミックスキル 大学での学び方				5月10日	【復習】学習振り返り、レポート	60分			
⑤【中村】ボランティア活動で自分発見、きどきどコミュニティサポーターとしての社会貢献				5月17日	【復習】学習振り返り、レポート	60分			
⑥【特別講義】地域に学ぶ認知症				5月24日	【復習】学習振り返り、レポート	60分			
⑦【特別講義】地域に学ぶ在宅看護				5月31日	【復習】学習振り返り、レポート	60分			
⑧【特別講義】地域に学ぶ社会福祉				6月7日	【復習】学習振り返り、レポート	60分			
⑨【宮嶋】学科の特徴を活かす①				6月14日	【復習】学習振り返り、レポート	60分			
⑩【宮城】学科の特徴を活かす② (体験授業)				6月21日	【復習】学習振り返り、レポート	60分			
⑪【宮城】卒業生の「つくり、つくりかえ、つくる」に学ぶ				6月28日	【復習】学習振り返り、レポート	60分			
使用テキスト: 『アカデミック・スキルズ(第3版) 大学生のための知的技法入門』慶應義塾大学出版会ISBN-13: 978-4766426564				その他参考文献など:					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 本学で大切にしている学びの基礎とあり方を追求する。積極的な「つくり、つくりかえ、つくる」を目指そう。									

社会福祉学科

科目名：生涯スポーツ実技			担当教員 氏名： 福島 洋樹			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次	前期	総合科目	演習	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：			日本陸上競技連盟指導者養成委員としての実務経験を活かして、生涯スポーツ態度を育成する。			
授業科目の学習教育目標の概要：					キーワード	
1.健康の保持増進、疾病予防、健康回復、苦痛緩和を保證する身体活動の価値を理解する。 2.スポーツ実践により、自尊心(自己効力感)を高め、感情調整し、尊重(思いやり)を示す。 3.「生活の質」を維持し、自分らしい生活を続けるためにスポーツに親しむ態度を身につける。 4.心身ともに健康な介護福祉人材を目指す。					・体力 ・技能 ・自尊心 ・感情調整 ・敬意、尊重 ・スポーツに親しむ態度	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 5. 7. 8	
A 知識・理解力	心身の健康保持増進、疾病予防、健康回復、苦痛緩和を保證する身体活動(スポーツ)の価値を理解し、介護場面での活用をイメージする。					
B 専門的技術	QOL向上の手段としてスポーツを活用し、介護場面に応用する能力を養う。					
C 論理的思考力	スポーツの実践場面で求められる、知識で「わかる」ことを身体で「できる」ように表現し、ゲームに「活かす」ことを試行錯誤しながら、論理的思考と問題解決力を身につける。					
E 自己管理能力	失敗を恐れず挑戦することで自尊心(自己効力感)を高め、他者との協働(折り合い)の中で感情を調整し、役割を理解して行動する。					
H コミュニケーション力	集団との関わりの中で、自己表現し、他者理解し、敬意・尊重(思いやり)の態度を身につける					
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： %	レポート： 20 %	発表： %	実技試験： 20 %	その他： 60 %		
特記事項： 【レポート】スポーツの役割・価値に関するテーマ 【実技試験】ランキングにより数値化 【その他】活動量を万歩計を用いて数値化						
アクティブラーニング要素： 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期： 【レポート】第8回 【実技試験】第14回と第15回の平均ランキング 【その他】活動量は毎時間申告						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：ランキングは毎回提示する。レポートは採点后、返却する。						
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)			
			学習内容	学習に必要な時間(分)		
①ガイダンス			{予習}生涯スポーツの定義と特色、背景を理解する {復習}生涯スポーツの定義と特色、背景をまとめる	{予習}60分 {復習}60分		
②ドライブ、ヘアピン、クリアー			{予習}生涯スポーツ政策の変遷と特徴を理解する {復習}生涯スポーツ政策の変遷と特徴をまとめる	{予習}60分 {復習}60分		
③ドライブ、ヘアピン、クリアー、ドロップ			{予習}日本のレジャー・レクリエーション政策を理解する {復習}日本のレジャー・レクリエーション政策をまとめる	{予習}60分 {復習}60分		
④ドライブ、ヘアピン、クリアー、ドロップ、スマッシュ、サーブ			{予習}生涯スポーツビジネスについて現状を理解する {復習}生涯スポーツビジネスについて現状をまとめる	{予習}60分 {復習}60分		
⑤シングルのルール説明、半面シングル			{予習}生涯スポーツが求められる役割を理解する {復習}生涯スポーツが求められる役割をまとめる	{予習}60分 {復習}60分		
⑥シングル/ ランキング決定戦			{予習}スポーツツーリズムでの地域活性化を理解する {復習}スポーツツーリズムでの地域活性化をまとめる	{予習}60分 {復習}60分		
⑦シングル/ ランキング決定戦			{予習}スポーツボランティアの果たす役割を理解する {復習}スポーツボランティアの果たす役割をまとめる	{予習}60分 {復習}60分		
⑧シングル/ ランキング決定戦			{予習}青少年のスポーツ参加の動向について理解する {復習}青少年のスポーツ参加の動向についてまとめる	{予習}60分 {復習}60分		
⑨ダブルスのルール説明			{予習}高齢社会におけるスポーツの役割を理解する {復習}高齢社会におけるスポーツの役割をまとめる	{予習}60分 {復習}60分		
⑩ダブルス/リーグ戦			{予習}リハビリテーションスポーツの意義を理解する {復習}リハビリテーションスポーツの意義をまとめる	{予習}60分 {復習}60分		
⑪ダブルス/リーグ戦			{予習}ニューススポーツの特性と歴史について理解する {復習}ニューススポーツの特性と歴史についてまとめる	{予習}60分 {復習}60分		
⑫団体戦			{予習}スポーツクラブの現状と課題を理解する {予習}スポーツクラブの現状と課題をまとめる	{予習}60分 {復習}60分		
⑬団体戦			{予習}スポーツのクラブマネジャーの役割を理解する {復習}スポーツのクラブマネジャーの役割をまとめる	{予習}60分 {復習}60分		
⑭シングル/ランク別リーグ戦			{予習}女性スポーツの促進や指導上の課題を理解する {復習}女性スポーツの促進や指導上の課題をまとめる	{予習}60分 {復習}60分		
⑮シングル/ランク別リーグ戦			{予習}スポーツ振興に果たす自らの役割を考察する {復習}スポーツ振興に果たす自らの役割をまとめる	{予習}120分		
使用テキスト：				その他参考文献など： 生涯スポーツ実践論—生涯スポーツを学ぶ人たちに 川西正志(著)、野川春夫(著)		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： 内履き、スポーツ・ウェアの着用、時間厳守 授業中における「携帯電話の使用」、「途中入室」、「途中退室」は認めない						

社会福祉学科

科目名: 日本語表現技法			担当教員 氏名: 宮城 信		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次 前期	総合科目	演習	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 中高教員だった経験を活かして、教え方(伝え方)についての実践的な授業を実施する。					
授業科目の学習教育目標の概要:				キーワード	
日本語を表現することは、自己表現することである。文章や会話を通して自己の在りようが現れることから、適切に伝えるための日本語表現の基礎基本を学ぶとともに、他者との関係を豊かにする自己表現のための態度を養う。				表現、話し方・書き方、語彙、コミュニケーション、日本語のシステム	
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福祉マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 5. 7	
A 知識・理解力		知識を体系的化し理解できる。			
B 専門的技術		日本語を使った自己実現に活用できる。			
E 自己管理能力		自らを律して表現活動ができる。			
H コミュニケーション力		言語や身体を用いて自己・他者の正しい理解を深めることができる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 50 %	レポート: 20 %	発表: 15 %	実技試験: %	その他: 15 %	
特記事項: ・上記「その他」には、小テスト・授業中の話し合い活動への積極的な参加状況の評価が含まれる。 ・授業の課題として、3回程度のレポートを課す。					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 <u>ディスカッション・ディベート</u> <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 適宜小課題を課す。最終試験は定められた日時に行う。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 課題に対してコメントを付す。課題・評価に関する質問は随時受け付ける。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①ガイダンス「日本語」で考える～伝わるとはどういうことか			【復習】授業内容の確認及び課題	【復習】120分	
②コミュニケーションの方略を考える(1)「説明する」			【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題	【予習】120分 【復習】120分	
③コミュニケーションの方略を考える(2)「謝罪する」			【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題	【予習】120分 【復習】120分	
④コミュニケーションの方略を考える(3)「依頼する」			【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題	【予習】120分 【復習】120分	
⑤課題研究(5/18): レポート作成			【予習】事前に基礎知識を収集する。	【予習】120分	
⑥日本語概説			【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題	【予習】120分 【復習】120分	
⑦文章表現法(1)文章を書くときの発想と語彙			【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題	【予習】120分 【復習】120分	
⑧文章表現法(2)表現の型・文章構成の型			【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題	【予習】120分 【復習】120分	
⑨文章表現法(3)説明する文章の書き方			【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題	【予習】120分 【復習】120分	
⑩文章表現法(4)主張する文章の書き方			【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題	【予習】120分 【復習】120分	
⑪課題研究(6/29): レポート作成			【予習】事前に基礎知識を収集する。	【予習】120分	
⑫ディベート演習(1)ディベートの基礎・ミニミニディベート			【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題	【予習】120分 【復習】120分	
⑬ディベート演習(2)論理的思考・批判的思考			【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題	【予習】120分 【復習】120分	
⑭ディベート演習(3)論を組み立てる			【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題	【予習】120分 【復習】120分	
⑮学修のまとめ			【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題	【予習】120分 【復習】120分	
使用テキスト: ・特定のテキストは指定しない。(※毎時間プリント等を配布する。) ・必要に応じて資料を配付する。			その他参考文献など: なし。		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): ・毎時間話し合い活動を組み込む。積極的に参加すること。 ・課題には真剣に取り組み、提出期限を遵守すること。					

社会福祉学科

科目名: 基礎英語				担当教員 氏名: Richard Curtis		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次	前期	総合科目	演習	選択必修	
実務経験を用いてどのよ うな授業を行っているか: As a native speaker with over 3 decades of teaching experience, the teacher will lead the students to speak natural English.						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
For students to be able to hold a simple conversation, and to expand their vocabulary.					Basic English communication	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 5. 7. 8. 10	
A 知識・理解力			Making the best use of what you have learned before plus trying to learn something new will lead to better command of the language.			
F チームワーク・リーダーシップ			Trying your best in playing your role is important in group activities.			
H コミュニケーション力			Positive attitude without being afraid of making mistakes is a MUST in building basic command of English.			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 30 %		レポート: %		発表: 30 %		実技試験: %
その他: 40 %						
特記事項: Classroom participation and attitude is vital to success in this course.						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 <u>ディスカッション、ディベート</u> <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: Group activities with presentations will be assigned. Schedule for working through the curriculum is shown below. Progress through the curriculum may be faster or slower than planned depending on class ability.						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: Individual discussions with students following graded presentations.						
授 業 計 画					準備学習(予習・復習等)	
					学習内容	学習に必要な時間(分)
① Getting to know each other.					Preview pgs. 5 - 10	30分
② Dates and ordinal numbers; Exchanging information.					Preview pgs. 11 - 16	30分
③ Likes and Dislikes; Counters and Singular/Plural					Preview pgs. 17 - 19	30分
④ WH-Questions					Preview pgs. 20 - 22	30分
⑤ Can and Can't - Assign First Presentation					Prepare for Oral Presentation 1	30分
⑥ Oral Presentation and Evaluation 1					Preview pgs. 24 - 26	30分
⑦ Simple Present and Describing Things					Preview pgs. 27 - 33	30分
⑧ Family; Simple Past: Questions and Stories					Preview pgs. 34 - 40	30分
⑨ Jobs; Making comparisons					Preview pgs. 41 - 46	30分
⑩ Numbers; Present and Past Progressive					Preview pgs. 47 - 53	30分
⑪ Present Perfect; Countries, Nationalities and Languages					Preview pgs. 54 - 56	30分
⑫ Future: Going to; Assign Second Presentation					Prepare for Oral Presentation 2	30分
⑬ Oral Presentation and Evaluation 2					Prepare for Talkopoly; pg. 58	30分
⑭ Talkopoly; Review					Review for test	30分
⑮ Final Review					Review all material	30分
使用テキスト: Talk a Lot -Starter Book- EFL Press ISBN:4580244425068					その他参考文献など:	
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): Everyone should expect to talk as much as they can. Hopefully we'll have fun, and your English will improve.						

社会福祉学科

科目名: 基礎日本語			担当教員 氏名: 林 宏美		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次 前期	総合科目	演習	選択必修	
実務経験を用いてどのよ、日本語教師として、介護施設・病院等で就労している外国人介護・看護職員に対する学習指導の実務経験を活かす授業を行っているか: し、介護現場で必要なコミュニケーション力や日本語を教授する。					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
基本的な日本語を駆使し、介護施設の職員として職場で必要とされる声かけとコミュニケーションを適切に行えること、および、日本での生活習慣、人間関係への適応能力を身につけることを目指す。					声かけとコミュニケーションの日本語、文法表現、介護に関する基本語彙と漢字の練習
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (短マトリックスで示される番号)		1. 2. 5. 7. 8. 10	
A 知識・理解力	介護現場で必要とされる基本的な行動を知る。介護に関する語彙表現を増やす。				
C 論理的思考力	文体や語彙表現の使い分けを理解し、現場の状況や出来事を報告できる能力を身につける。				
G 倫理観	利用者や家族の心情を理解し、各テーマについて話し合うことにより、介護に携わる者としての倫理観を身につける。				
H コミュニケーション力	効果的なコミュニケーションを行うための会話技術を習得する。				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 40 %	レポート: %	発表: 30 %	実技試験: %	その他: 30 %	
特記事項: *上記「その他」においては、授業中の態度、授業中の課題演習の提出状況などで評価する。*本科目では、アクティブ・ラーニングの一環としてグループワーク、発表を行う。 アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 適宜小テスト、発表を行い、最終回に総まとめテストを実施する。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 適宜小テストを行い、採点し返却する。会話については、発表時にフィードバックし、評価する。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①法律・制度 朝のあいさつ・就寝前のあいさつ			【予習】読書リストを読む、音読を聴く 【復習】音読や会話表現を覚える、練習プリント	【予習】20分 【復習】40分	
②法律・制度 朝のあいさつ・就寝前のあいさつ			【予習】読書リストを読む、音読を聴く 【復習】音読や会話表現を覚える、練習プリント	【予習】20分 【復習】40分	
③法律・制度 よく使われるフレーズ			【予習】読書リストを読む、音読を聴く 【復習】音読や会話表現を覚える、練習プリント	【予習】20分 【復習】40分	
④高齢者にみられる主な病気・症状 よく使われるフレーズ			【予習】読書リストを読む、音読を聴く 【復習】音読や会話表現を覚える、練習プリント	【予習】20分 【復習】40分	
⑤高齢者にみられる主な病気・症状 仰臥位から端坐位への体位変換			【予習】読書リストを読む、音読を聴く 【復習】音読や会話表現を覚える、練習プリント	【予習】20分 【復習】40分	
⑥高齢者にみられる主な病気・症状 仰臥位から端坐位への体位変換			【予習】読書リストを読む、音読を聴く 【復習】音読や会話表現を覚える、練習プリント	【予習】20分 【復習】40分	
⑦高齢者にみられる主な病気・症状 ベッドから車いすへの移乗			【予習】読書リストを読む、音読を聴く 【復習】音読や会話表現を覚える、練習プリント	【予習】20分 【復習】40分	
⑧高齢者にみられる主な病気・症状 ベッドから車いすへの移乗			【予習】読書リストを読む、音読を聴く 【復習】音読や会話表現を覚える、練習プリント	【予習】20分 【復習】40分	
⑨高齢者にみられる主な病気・症状 車いすへの移乗			【予習】読書リストを読む、音読を聴く 【復習】音読や会話表現を覚える、練習プリント	【予習】20分 【復習】40分	
⑩業務で必要な知識 車いすへの移乗			【予習】読書リストを読む、音読を聴く 【復習】音読や会話表現を覚える、練習プリント	【予習】20分 【復習】40分	
⑪業務で必要な知識 食事の介助			【予習】読書リストを読む、音読を聴く 【復習】音読や会話表現を覚える、練習プリント	【予習】20分 【復習】40分	
⑫業務で必要な知識 食事の介助			【予習】読書リストを読む、音読を聴く 【復習】音読や会話表現を覚える、練習プリント	【予習】20分 【復習】40分	
⑬業務で必要な知識 口腔ケア			【予習】読書リストを読む、音読を聴く 【復習】音読や会話表現を覚える、練習プリント	【予習】20分 【復習】40分	
⑭業務で必要な知識 口腔ケア			【予習】読書リストを読む、音読を聴く 【復習】音読や会話表現を覚える、練習プリント	【予習】20分 【復習】40分	
⑮業務で必要な知識 服薬の介助			【予習】全体の復習をする	【予習】60分	
使用テキスト: 『外国人介護士のための声かけとコミュニケーションの日本語 vol.1』アークアカデミー編著 松下やえ子監修 三修社 ISBN978-4-384-05925-0 『はじめて学ぶ介護の日本語 基本の知識』著書 三橋麻子 丸山真貴子 発行 スリーエーネットワーク ISBN978-4-88319-793-4			その他参考文献など: 5か国語でわかる介護用語集(ミネルヴァ書房) 英語・中国語・インドネシア語・ベトナム語・日本語		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 会話の発表は積極的に取り組んでください。その取り組みの姿勢や授業態度を評価します。					

社会福祉学科

科目名: 情報処理 I			担当教員 氏名: 松崎 仁平		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次 前期	総合科目	演習	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:					
授業科目の学習教育目標の概要:				キーワード	
近年の医療・福祉の現場において、電子カルテ等をはじめとして急速に情報化が進み、情報化スキルの必要性が高まっている。この科目では、コンピュータやネットワークの基本知識を学習し、各種ソフトウェアの基本的な活用能力を演習をとおして修得する。				コンピュータ、ネットワーク、ソフトウェア、ワード、パワーポイント、エクセル	
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1, 2, 8,	
A 知識・理解力		・コンピュータ、ネットワークの基礎知識、情報リテラシーを理解する。 ・Windows10の基礎知識を学習する。			
D 問題解決力		・文書作成ソフト「Microsoft Word」、プレゼンテーションソフト「Microsoft Power Point」、表作成ソフト「Excel」の基本操作を修得する。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト:	%	レポート:	%	発表:	%
				実技試験: 50 %	その他: 50 %
特記事項: ・上記、「その他」では授業の態度、授業中の課題演習の提出状況などで評価する。 ・授業外の予習・復習が不可欠であり、反転授業(アクティブ・ラーニング)として、学生が主体的に関わる意識を持つことを重視する					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 授業中後半に毎回課題演習を行う。また授業期間の中間と最後に実技試験を行う。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 授業中に出す演習課題については各学生毎にチェックする。また複数回実施する実技試験については採点結果を伝える。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
① コンピュータとネットワークの基礎知識の理解			インターネットについて調べる	【予習】30分 【復習】30分	
② 情報システムの基礎知識の理解			情報のセキュリティについて調べる	【予習】30分 【復習】30分	
③ Windows10の基礎知識と基本操作の理解			Windowsについて調べる	【予習】30分 【復習】30分	
④ Wordによる文書作成(基本的な文字入力)			Word(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑤ Wordによる文書作成(案内状などの作成)			Word(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑥ Wordによる文書作成(表作成)			Word(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑦ Wordによる文書作成技術を再確認する。			Word(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑧ Excelによる表作成			Excel(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑨ Excelによるグラフ作成			Excel(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑩ Excelによる数式・関数の活用			Excel(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑪ Excelの基本操作を再確認する。			Excel(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑫ PowerPointによる資料作成(箇条書き機能など)			PowerPoint(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑬ PowerPointによる資料作成(図の作成)			PowerPoint(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑭ PowerPointによる資料作成(プレゼン資料の作成)			PowerPoint(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑮ Word、PowerPoint、Excelの基本操作を再確認する。			Word、PowerPoint、Excelの予復習をする	【予習】30分 【復習】30分	
使用テキスト: 電子コンテンツの「できるWord2013」、「できるPowerPoint2013」、「できるExcel2016」(インプレスジャパン)			その他参考文献など: 情報リテラシー(noa出版) Officeソフトで作る文書ドリル全55題(noa出版)		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 授業での演習時間が少ないので必ず予習・復習を行うこと。					